

第21回 金沢市用水保全審議会

日時：平成17年 1月25日（火）午後2時～3時30分

場所：金沢市役所新館7階 第3委員会室

[意見交換]

事務局

ただいまより、第21回金沢市用水保全審議会を開催致します。

今回の委員出席者は16名中11名でございます。昨年秋の委員委嘱に際しましては、委員のみなさまからご快諾頂きまして誠にありがとうございました。10月はじめに委員に就任頂き、今回が最初の審議会になりますので、委員のみなさまのお名前をお呼びさせていただきご紹介にかえさせていただきますと思います。

委員名読み上げ。（木村委員の代理で辻補佐、山内委員の代理で平賀副所長が出席。）

なお、西村委員、野道委員、宮永委員、森田委員、矢島委員におかれましては、所用のため欠席との連絡を受けております。

それでは、第一の案件、審議会の会長の選任についてお諮りしたいと思います。金沢市用水保全条例におきましては、委員の互選により会長を選任するとの規程がございます。これに基づきまして選任して頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。

委員

前回到引き続き作田委員にお願いしたらいかがでしょうか。

各委員

賛成。拍手。

事務局

ただいま、吉田委員より会長に作田委員とのご意見があり、みなさまから拍手を頂きましたので、作田委員に引き続き会長をお願いいたします。それでは作田会長、審議の進行を宜しくお願い致します。

会長

引き続き、会長という大役を仰せつかりました。宜しくお願い致します。ご存知のように用水は金沢市にとって重要な大動脈であり、また血液として位置づけられるものであります。経済同友会をはじめとする多くの方々が注目をされているところであります。みなさまのご協力・ご指導を賜りながら、金沢の市街地や里山のあちこちで用水のすばらしい姿を見ることができるよう、私も勉強しながら務めてまいりたいと思いますので、宜しくお願い致します。

それでは、事務局の方から資料についてご説明お願い致します。

事務局

はい。それでは前回の第20回審議会、第5次保全用水の選定ということで、雀谷川と沼田川についてご審議を頂いたところでございます。その際、いくつかのご指摘がございましたので、当方で現地調査等を行いまして、今回、保全基準案などをお手元の資料にまとめてまいりました。それではその

委員 6番の川底の姿が用水の基本的な底の形だとすれば、もともとの姿として残すことが必要ですね。現在、コンクリートになっているところを石張りすることも必要だと思いますが、6番のところはもともとの川底として残すことが大切ですね。

事務局 保全指定となれば保存もできると思います。

委員 沼田川の石積みについて、景観的に大変すばらしいのですが、天端空間の確保ということについても安全上や管理について考えると必要だと思います。整備イメージでは、天端空間が確保されずに生垣があるようになっています。権利関係も込み入って難しい課題だと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 資料P. 5にあります保全要綱「隣接敷地」の項に、「1m～50cmを確保する」と明記してあります。大変難しいことではありますが、今後、隣接敷地における届出がある際には、これに基づいて指導していきたいと考えております。

会長 歴史的建造物を保全することは大変なことですが、要綱に従っていくことが大事です。

委員 石張りも良いが、藩政期はどうだったかが気になります。足軽資料館建設のときに用水跡を掘り出して埋めてしまいましたが、その時用水底はどうだったのかがわかりません。

事務局 今後、玉川図書館横にある西外惣構堀について試掘調査を行い、用水底の様子などを調査する予定です。

委員 歴史的遺産として後世に残す場合は、藩政時代のもののあり方にできるだけ忠実に復元し残していくことが必要だと思います。

会長 そのとおりですね。

委員 それから、用水や川には管理道があったはずだがどうだったのか。石積みの上に家が建つというのはどういう経緯だったのか。個人が勝手に自分の庭として管理道部分を取り込んでいったのだと思いますが。

委員 新保さんや吉田さん、どうでしたでしょうか。用水沿いに管理道はありましたか。

委員 本来、用水沿いに管理道はついているものとして捉えています。いつのまにか隣接地の地権者が取り込んでいる場合が多いですね。

委員 本来あったはずであるが、いつのまにか取り込んでいる場合もありますね。

事務局 市内には水路上に建っている家がいくつかあります。補償対応しながら、時間はかかりますが解決していきたいと思います。

委員 これからもぜひよろしくお願い致します。

委員 雀谷川では砂防工事の際に60cmは確保されているはずですが。

会長 その他、ご意見はございますでしょうか。

委員 今朝の新聞にも用水のことが記事になっていましたが、これからは、用水についていろいろと目を向けていかなければと思っています。

委員 P.12の雀橋の「レンガ造りのアーチ橋」という表現は正しいのですか。

事務局 見た目がレンガ造りということで表現しております。詳しい構造を調べたところ、本体はコンクリートで表面にレンガを張り当てたものです。ただし、文化財的にはコンクリートにレンガを張った物でも歴史的価値について問題ないとのことでした。

委員 その場合、「レンガ造り」という表現はどうなのか。いつ頃、コンクリート構造になったのでしょうか。

事務局 調書によると明治31年に架けられた橋ということになっています。

会長 保全整備のイメージは調和したものにして頂ければと思います。

委員 P.12の絵のように、やはりその周囲の護岸が石積みとなればいいですね。

会長 他にご意見がないようでしたら、原案通り答申させて頂いてよろしいでしょうか。委員のみなさまから貴重な意見を頂きました。その意見を加味しながら今後の取り組みを進めて頂きたいと思います。

それでは、第5次保全指定用水についての審議を終わらせて頂きます。なお、答申につきましては、日を改めまして私の方で市長へ提出したいと思っておりますので、ご一任頂ければと思います。

特に他にないようでしたら審議を終わりたいと思います。ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。今、作田会長からご案内ありましたように、第

5次保全用水及び用水保全基準につきましては、作田会長とご相談を申し上げながら、市長への答申を行ってまいりたいと思いますので、委員のみなさまにはご了解の程よろしくお願い致します。

それでは、以上をもちまして第21回金沢市用水保全審議会を終了させていただきます。

どうもありがとうございました。

以上